

| | | | | |
|------------|---|-----|------|------|
| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 履修年次 | 必・選択 |
| 福祉 | 社会福祉基礎 | 2単位 | 2年 | 選択 |
| 選択条件 | | | | |
| 対象者 | 2年生 進学系列人文コース、生活・福祉系列 | | | |
| 取得資格 | | | | |
| 学習のアドバイス | 毎回プリントを提出してもらうので、授業には集中して取り組んでください。また、授業では社会問題を扱うため、家庭ではニュースを観る習慣をつけましょう。 | | | |
| 教材 実習費等 | <教材> 実教出版「社会福祉基礎」 <実習費> 200円 | | | |

| | | | |
|--------------|--|--|---|
| 評価の観点 の趣旨 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 社会福祉の基礎的な資質・能力を日常生活と関連させながら理解し、実践的・体験的な学習活動を通して関連する技術を身に付けている。 | 現代社会における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けている。 | 福祉社会の創造と発展のため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 |

| 月 | 単元 | 学習の内容 | 評価方法 | | |
|----|---|--|-------------|------------------|------------------|
| | | | 知・技 | 思・判・表 | 主体的 |
| 4 | 1. 社会福祉の理念と意義 (1) 生活と福祉 (2) 社会福祉の理念 (3) 人間の尊厳と新たな福祉社会の創造 | 社会構造や生活構造、家庭構造の変化等について取り上げ、その変化が社会福祉に大きく影響していることを学ぶ。 日本国憲法における基本的人権の尊重と社会福祉についての関連性を学び、福祉国家を創造するために何が必要か考える。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 5 | | 【1学期中間考査】 | | | |
| 6 | 2. 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 (1) 諸外国における社会福祉 (2) 日本における社会福祉 | 日本と諸外国の社会福祉の発展について学び、現代社会における課題について考える。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 7 | | 【1学期期末考査】 | | | |
| 9 | 3. 生活を支える社会福祉・社会保障制度 (1) 社会福祉・社会保障制度の意義と役割 (2) 子ども家庭福祉 | 社会保障制度の意義と役割を理解する。社会福祉に関わる諸機関について理解する 子育て支援のあり方と現状の課題について考える。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 10 | | 【2学期中間考査】 | | | |
| 11 | (3) 障害者福祉 (4) 高齢者福祉と介護保険制度 (5) 生活支援のための公的扶助 | 障害者福祉における課題と今後について考える。 高齢者福祉における課題と今後について考え、介護保険制度について理解する。 コミュニケーションの意義と構成要素について理解し、円滑なコミュニケーションを図るために必要な知識を習得する。 | | | |
| 12 | | 【2学期期末考査】 | | | |
| | (6) 国民の生活を支える社会保障制度 | それぞれの分野ごとで施策の背景や現状をふまえた上で、今後何が必要になるのかを学ぶ。 | | | |

| | | | | | |
|---|--|---|--------------|----------------|--------------|
| 1 | <p>4. 人間関係とコミュニケーション</p> <p>(1) コミュニケーションの基礎</p> <p>(2) 支援における人間関係の形成</p> <p>(3) 社会福祉における支援活動の概要</p> | <p>福祉社会を創造していくために必要な社会福祉従事者とその専門性について理解するとともに、社会福祉従事者の現状について考える。</p> | <p>ワ 提 定</p> | <p>ワ 提 定 発</p> | <p>ワ 提 観</p> |
| 2 | <p>5. 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度</p> <p>(1) 多様な社会的支援制度</p> <p>(2) 地域福祉の進展と地域の将来</p> | <p>福祉サービスの質的向上、量的拡充のためには、社会福祉の人材確保は不可欠であることを理解する。介護福祉士・社会福祉士の業務について理解する。</p> | | | |
| 3 | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【学年末考査】</div> | | | |

評価方法

ワ : ワークシート・ノート
 提 : 提出物
 定 : 定期考査
 小 : 小テスト
 発 : 発表
 観 : 観察
 など

| | | | | |
|------------|--|-----|------|------|
| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 履修年次 | 必・選択 |
| 福祉 | 介護福祉基礎 | 2単位 | 2年 | 選択 |
| 選択条件 | | | | |
| 対象者 | 2年生 進学系列人文コース、生活・福祉系列 | | | |
| 取得資格 | 社会福祉・介護福祉検定（4級） | | | |
| 学習のアドバイス | 授業プリントは毎回提出してもらおうので、授業に集中して取り組んでください。今起きている社会問題を取り上げることがあります。福祉に関するニュースを観る習慣をつけましょう。 | | | |
| 教材 実習費等 | <教材> 実教出版「介護福祉基礎」 <実習費> 2000円 | | | |

| | | | |
|--------------|--|--|---|
| 評価の観点 の趣旨 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 介護福祉の基礎的な資質・能力を地域における生活の継続性と関連させて理解し、実践的・体験的な学習活動を通して技術を身に付ける。 | 介護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けている。 | 人間の尊厳を支え自立支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協動的に取り組んでいる。 |

| 月 | 単元 | 学習の内容 | 評価方法 | | |
|----|--|---|-------------|-------------|------------------|
| | | | 知・技 | 思・判・表 | 主体的 |
| 4 | 1. 介護の意義と役割 (1) 尊厳を支える介護 (2) 自立に向けた介護 | 介護が必要な人とはどのような人か、尊厳とはどのようなことか理解し、尊厳を守るために必要な考え方や態度について学ぶ。 【1学期中間考査】 | ワ 提 定 | ワ 提 発 | ワ 提 発 観 |
| 5 | 3. 介護を必要とする人の理解と介護 (1) 高齢者の生活支援 (2) 高齢者の生活を支える介護のあり方 | 高齢者の特徴や活動、認知症等の疾患を理解し、高齢者に対するより良い介護のあり方を学ぶ。また、基本的な生活支援の方法や技術を学ぶ。 | ワ 提 定 | ワ 提 発 | ワ 提 発 観 |
| 6 | (3) 障がいの生活と支援 | 障がいの範囲と程度を理解し、障がいに対する考え方の変化や障がい者の生活環境を把握する。 | | | |
| 7 | | 身体、知的、視覚障害、聴覚・言語障害、発達、精神障害者の心理や生活上の問題を把握し、問題の解決法を乞える。また、一人の人間として尊重、対応していくことの大切さを理解する。 【1学期期末考査】 | | | |
| 9 | (4) 介護を必要とする人の生活を支える支援 (5) 介護福祉サービスの概要 (6) 介護過程 | バリアフリーやユニバーサルデザインなど介護に必要な基本的知識を理解するとともに、高齢者や要介護者の住環境や福祉用具の活用や利用方法について学ぶ。 | | | |
| 10 | | 自立・生活支援について、様々な実例を国際生活機能分類（ICF）の視点から考え、利用者の自己実現の支援について学ぶ。 【2学期中間考査】 | ワ 提 定 | ワ 提 発 | ワ 提 発 観 |
| 11 | 2. 介護福祉の担い手 (1) 介護従事者の役割と倫理 (5) 介護福祉サービスの概要 | 介護従事者として必要な倫理観と、それに基づく態度について理解する。 | | | |
| 12 | | 介護保険制度の流れ、ケアマネジメントについて理解する。在宅サービス・施設サービスの役割、特徴を理解する。施設サービスの役割や特徴について理解する。 【2学期期末考査】 | | | |

| | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|--|
| 1 2 3 | 4. 介護における安全確保と危機管理 (1) 安全確保と事故対策 (2) 介護従事者の健康管理 (3) 感染対策 (4) 福祉用具と介護ロボット | 福祉施設で想定されるリスクとマネジメントの方法を理解する。また、介護事故の特性と対応の基本について理解する。 介護の現場で起こる事故の要因を考察する。また、事故の分析と対応、組織としての事故防止対策について考察する。 福祉用具と介護ロボットの必要性、活用方法を考察する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">【学年末考查】</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">提</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">定</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">提</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">提</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">観</div> |
|-------------|--|---|---|---|--|

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考查
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

| | | | | |
|------------|---|-----|------|------|
| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 履修年次 | 必・選択 |
| 福祉 | コミュニケーション技術 | 2単位 | 3年 | 選択 |
| 選択条件 | | | | |
| 対象者 | 3年生 進学系列人文コース、生活・福祉系列 | | | |
| 取得資格 | | | | |
| 学習のアドバイス | 演習を多く取り入れています。ペア・グループでの活動が多い授業なので、他の生徒と協力して積極的に活動をしてください。コミュニケーションの技法や心理的な要素についても理解できるようしっかりと学習しましょう。 | | | |
| 教材 実習費等 | <教材> 実教出版「コミュニケーション技術」 <実習費> 500円 | | | |

| | | | |
|--------------|---|---|---|
| 評価の観点 の趣旨 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 対人援助や人間関係の構築として、福祉実践におけるコミュニケーションと関連させながら体系的・系統的に理解するとともに、実践的・体験的な学習活動を通して関連する技術を身に付けている。 | 福祉実践におけるコミュニケーションに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けている。 | 福祉実践における対人援助や人間関係の構築のため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 |

| 月 | 単元 | 学習の内容 | 評価方法 | | |
|----|---|---|-------------|------------------|------------------|
| | | | 知・技 | 思・判・表 | 主体的 |
| 4 | 1. 福祉実践におけるコミュニケーション (1) コミュニケーションの意義と役割 | さまざまな演習を通して、自己理解・他者理解をはかり、対人関係をスムーズに行うためのコミュニケーションの方法を学ぶ。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 5 | | 【1学期中間考査】 | | | |
| 6 | (2) コミュニケーションの基本技術 | 手話や点字などの言語コミュニケーションの基本的な知識と技術について学ぶ。演習を通して、非言語コミュニケーションを体験する。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 7 | 【1学期期末考査】 | | | | |
| 9 | 2. サービス利用者や家族とのコミュニケーション (1) サービス利用者や家族との関係づくり | 介護を必要とする人を理解するための基本的なコミュニケーション技術を学ぶ。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 10 | | 【2学期中間考査】 | | | |
| 11 | (2) サービス利用者に応じたコミュニケーション | 視覚・聴覚・言語・運動機能障がいのある人とのコミュニケーションについて知識を深める。知的障がいや認知症の人とのコミュニケーションについて、事例を踏まえ方法を理解する。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 12 | 【2学期期末考査】 | | | | |

| | | | | | |
|---|--|---|-------------|------------------|------------------|
| 1 | 3. 福祉実践におけるチームのコミュニケーション (1) 記録 (2) チームによる連携 | 保健・医療・福祉などの他職種協働におけるコミュニケーションのあり方について学び、チームケアのためのコミュニケーションの重要性について理解する。 記録の重要性について認識する。 チームによる連携の重要性をおさえる。スーパービジョンの技法を学ぶ。 | ワ 提 定 | ワ 提 発 定 | ワ 提 発 観 |
| 2 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">【学年末考査】</div> | | | | |
| 3 | | | | | |

評価方法

ワ : ワークシート・ノート
 提 : 提出物
 定 : 定期考査
 小 : 小テスト
 発 : 発表
 観 : 観察
 など

| | | | | |
|------------|--|-----|------|------|
| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 履修年次 | 必・選択 |
| 福祉 | 生活支援技術 | 3単位 | 2年 | 選択 |
| 選択条件 | | | | |
| 対象者 | 2年生 生活・福祉系列 | | | |
| 取得資格 | | | | |
| 学習のアドバイス | 実習活動やグループ活動では他の生徒と協力して行うこと。調べ学習やグループでの話し合いなどが多い授業なので、自主的に活動することが大切です。また、レポートなどは提出期限を守るようにしてください。 | | | |
| 教材 実習費等 | <教材> 実教出版「生活支援技術」 <実習費> 2000円 | | | |

| | | | |
|--------------|---|---|---|
| 評価の観点 の趣旨 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 自立に向けた生活支援に必要な資質・能力をサービス利用者主体の生活と関連させながら理解し、実践的・体験的な学習活動を通して技術を身に付けている。 | 自立に向けた生活支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けている。 | 尊厳の保持や自立支援に根ざした豊かな生活に向けた支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 |

| 月 | 単元 | 学習の内容 | 評価方法 | | |
|----|--|--|-----------------------|------------------|------------------|
| | | | 知・技 | 思・判・表 | 主体的 |
| 4 | 1. 生活支援の理解 (1) 生活の理解 (2) 生活支援の考え方 (3) 生活支援と介護家庭 5 (4) 多職種協働と他の専門職の役割 | 個人の尊厳やプライバシー、利用者の心理状態について考察し、他職種との連携について理解する。 介護観や倫理観について理解し、自ら判断できる力を身に付ける。 からだのしくみについて理解し、人体の構造や機能を理解する。 | ワ 実 提 小 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 発 観 |
| 6 | 2. 自立に向けた生活支援 (1) 住居環境の整備 7 (2) 身じたくの支援 9 (3) 移動の支援 | 各生活行為の実際の場面を想定し、演習・実習を通して適切な介護方法を理解する。 利用者の安全・安楽に配慮し、介護を行うことを理解する。 【1学期期末考査】 | ワ 実 提 小 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 発 観 |
| 10 | (4) 食事の支援 (5) 入浴・清潔保持の支援 11 (6) 家事の支援 (7) 排せつの支援 12 (8) 睡眠・休養の支援 | 食事、入浴の意義と自立生活を支える支援のあり方の実習を通して理解し、適切な介護方法を理解する。 睡眠の意義や安眠のための配慮、安眠のための支援についてや認知症のある人や障がいのある人への介護について理解する。 【2学期期末考査】 | ワ 実 提 小 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 発 観 |
| 1 | (9) レクリエーションと介護 | | | | |

| | | | | | |
|--------|---|---|---|---|--|
| 2 3 | <p>3. 終末期・緊急時の支援 (1) 緊急時の支援 (2) 災害時の支援</p> <p>4. 終末期の支援 (1) 終末期の支援</p> <p>5. 医療的ケア (1) 医療的ケアの理解</p> | <p>緊急時の介護や応急処置について、実習を行い、その仕組みと必要性を学ぶ。</p> <p>終末期の支援について、利用者の心理状態や利用者を取り巻く環境について考察する。終末期の介護の具体的な事例をもとに、終末期の支援の意義と役割について学ぶ。医療的ケアの支援の意義を理解し、医療的ケアの方法を学ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">【学年末考査】</div> | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提</div> </div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">定</div> </div> | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">発</div> </div> | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提</div> </div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観</div> </div> </div> |
| | | | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提</div> </div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">定</div> </div> | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">発</div> </div> | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提</div> </div> <div style="display: flex; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観</div> </div> </div> |

評価方法

ワ : ワークシート・ノート
提 : 提出物
定 : 定期考査
小 : 小テスト
発 : 発表
観 : 観察
実 : 実技テスト など

| | | | | |
|------------|---|-----|------|------|
| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 履修年次 | 必・選択 |
| 福祉 | 介護実習 | 4単位 | 3年 | 選択 |
| 選択条件 | | | | |
| 対象者 | 3年生 生活・福祉系列 | | | |
| 取得資格 | 社会福祉・介護福祉検定（3級または4級） | | | |
| 学習のアドバイス | 福祉実践を想定した授業なので、身だしなみ（爪・服装・髪）などを整えて毎時間の授業に緊張感をもって取り組んでください。施設見学・実習、交流会の際にはあいさつはもちろん、できることから積極的に取り組む努力をしましょう。 | | | |
| 教材 実習費等 | <実習費> 6000円（検定料を含む） | | | |

| | | | |
|--------------|--|--|--|
| 評価の観点 の趣旨 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | サービス利用者主体の生活支援に必要な資質・能力を地域における生活の持続性と関連させながら体系的・系統的に理解するとともに、実践的・体験的な学習活動を通して関連する技術を身に付けている。 | 地域における継続した生活に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けている。 | 地域における継続した生活の支援を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 |

| 月 | 単元 | 学習の内容 | 評価方法 | | |
|----|--|--|------|-------|-----|
| | | | 知・技 | 思・判・表 | 主体的 |
| 4 | 1. 介護技術の基本と実際 (1) 基本的介護技術 (2) 環境の整え方 (3) 運動移動の援助 (4) 福祉用具の活用 (5) 排世の援助 (6) 清潔の援助 (7) 食事の援助 (8) 衣服着脱の援助 | 介護現場での実習に備え、ボディメカニクスに関する基礎的な知識と技術を身につけ、ベッドメイキングやリネン類の管理について基礎的な知識と技術を身につける。 姿勢・体位について学習し、運動・移動に関する基本的な知識と技術を身につける。 車椅子など代表的な福祉用具を使用して、高齢者・障害者の自立と快適な生活を援助する福祉用具の有用性を学ぶ。 高齢者・障害者の心理に配慮した排世の援助に関する基本的な知識と技術を身につける。 利用者のプライバシーに配慮した清潔の援助に関する基本的な知識と技術を身につける。 食事の援助に関する基本的な知識と技術を身につける。 利用者のプライバシーに配慮した衣服着脱の援助に関する基本的な知識と技術を身につける。 | ワ | ワ | ワ |
| 5 | | | 提 | 提 | 提 |
| 6 | | | 定 | 発 | 観 |
| 7 | | | 小 | | |
| 9 | | | ワ | ワ | ワ |
| 10 | | | 提 | 提 | 提 |
| 11 | | | 定 | 発 | 観 |
| 12 | | | 小 | | |
| 9 | 2. 高齢者福祉施設における体験実習 (1) 意義と目的 (2) オリエンテーション (3) 現場実習の実際 (4) 反省、記録 3. 個別ケアのための介護技術の基本 | 近隣の高齢者福祉施設において体験実習を行い、基本的介護技術やコミュニケーション力の実践を行う。 | ワ | ワ | ワ |
| 10 | 提 | | 提 | 提 | |
| 11 | 定 | | 発 | 観 | |
| 12 | 小 | | | | |

| | | | | |
|------------|--|-----|------|------|
| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 履修年次 | 必・選択 |
| 福祉 | こころとからだの理解 | 2単位 | 3年 | 選択 |
| 選択条件 | | | | |
| 対象者 | 3年生 生活・福祉系列、ビジネス系列選択者 | | | |
| 取得資格 | | | | |
| 学習のアドバイス | 授業プリントは毎回提出してもらうため、授業に集中して取り組みましょう。実習活動やグループ活動では他の生徒と協力して行いましょう。定期考査前は授業プリントをしっかりと見直し、学習時間を確保しましょう。自身のこころとからだについて関心を持つように意識をしましょう。 | | | |
| 教材 実習費等 | <教材> 実教出版「こころとからだの理解」 <実習費> 500円 | | | |

| | | | |
|--------------|---|--|--|
| 評価の観点 の趣旨 | 知識・技術 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 自立生活の支援に必要なこころとからだの理解について体系的・系統的に理解するとともに、実践的・体験的な学習活動を通して関連する技術を身に付けている。 | こころとからだの理解に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、解決する力を身に付けている。 | 生活支援の根拠となるこころとからだの理解を活用した福祉実践を行うため、福祉の見方・考え方を働かせ、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 |

| 月 | 単元 | 学習の内容 | 評価方法 | | |
|-----------|---|--|-------|---------|------------|
| | | | 知・技 | 思・判・表 | 主体的 |
| 4 | 1. こころとからだの基礎的理解 (1) こころの理解 (2) からだのしくみの理解 | こころの理解では、人間の基本的な欲求や社会的欲求について理解する。 からだのしくみでは、人体の構造や関節可動域等の機能、人体各部の名称について学ぶ。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 【1学期中間考査】 | | | | | |
| 6 | 2. 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 (1) 身じたくに関するもの (2) 移動に関するもの (3) 食事に関するもの | 各器官の機能と基本的な生活行動との関係について、生活支援技術で学んだことをもとに更に深く理解する。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 【1学期期末考査】 | | | | | |
| 9 | (4) 入浴・清潔に関するもの (5) 排泄に関するもの (6) 睡眠に関するもの | 各生活行為の実際の場面を想定し、こころとからだのしくみについて理解する | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 【2学期中間考査】 | | | | | |
| 11 | (7) 感染症に関するもの (8) 緊急時に関するもの (9) 災害時に関するもの (10) 終末期に関するもの | 感染症・緊急時に対象となる人の状態に応じた介護実践を行うための知識や技術も学ぶ。災害時・終末期にかかわるこころとからだのしくみを理解するとともに、そこにかかわる医療や福祉の他職種の連携についても学ぶ。 | ワ 提 定 | ワ 提 定 発 | ワ 提 観 発 |
| 12 | 3. 発達と老化の理解 (1) 人間の成長と発達 (2) 老年期の理解と日常生活 (3) 高齢者と健康 | 人間の発達における心理や身体機能の変化と日常生活への影響について学ぶ。 | | | |
| 【2学期期末考査】 | | | | | |

| | | | | | |
|--|---|--|-------|------------|------------|
| 1 | <p>4. 認知症の理解</p> <p>(1) 認知症をとりまく状況</p> <p>(2) 認知症の基礎的理解</p> <p>(3) 認知症に伴う心身の変化と日常生活</p> <p>(4) 認知症と地域サポート</p> | <p>認知症の特徴、心の変化、生活面への影響、支える家族の心の変化や生活面での影響を学ぶ。</p> <p>地域の認知症高齢者を取り巻く状況について調べ、どのような支援体制があるかを学ぶ。</p> | ワ 提 定 | ワ 提 発 定 | ワ 提 発 観 |
| 2 | <p>5. 障がいの理解</p> <p>(1) 障がいの基礎的理解</p> <p>(2) 生活機能障害の理解</p> <p>(3) 障がいに伴う心身の変化と日常生活</p> <p>(4) 障がいと地域生活支援</p> | <p>障がいに関する基本的な考え方と関係法規について学ぶ。障がいのとらえ方の変遷についても理解し、各種障がいの種類や特性についても学ぶ。障がいが日常生活に与える影響や障がい者を支援する地域資源についても学ぶ。</p> | | | |
| <div data-bbox="422 582 715 649" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">【学年末考査】</div> | | | | | |

評価方法

ワ : ワークシート・ノート
 提 : 提出物
 定 : 定期考査
 小 : 小テスト
 発 : 発表
 観 : 観察
 など